

決算特別委員会 産業建設分科会 記録

開会年月日	平成30年 9 月 25日
開会時刻	午前 9 時 57分
散会時刻	午前11時19分
出席委員名	◎世古 明 ○北村 勝 中村 功 小山 敏
	山本正一 宿 典泰
	西山 則夫 議長
欠席委員名	なし
署名者	中村功 北村勝
担当書記	森田 晃司
審査案件	議案第71号 平成29年度決算認定 産業建設分科会関係分
	議案第73号 平成29年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成29年度伊勢市水道事業会計決算認定について
	議案第74号 平成29年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成29年度伊勢市下水道事業会計決算認定について
説明員	市長 副市長 ほか関係参与

審査経過

世古会長が開議を宣言し、会議成立宣言の後、会議録署名者に中村委員、北村委員を指名した。その後、直ちに会議に入り、「議案第71号 平成29年度決算認定」中、産業建設分科会関係分外2件を議題とし、款10消防費から審査を再開し、付託案件すべての審査を終わり、暫時休憩の後、会長報告文については正副会長に一任することで決定し、散会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開議 午前9時57分

◎世古明会長

ただいまから決算特別委員会産業建設分科会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

会議録署名者は当初決定のとおりです。

172ページをお開きください。

款10消防費の審査に入ります。

当分科会の所管は、項1消防費のうち目4水防費です。

【款10消防費】《項1消防費》（目4水防費） 発言なし

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、款10消防費の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、196ページをお開きください。

款11教育費の審査に入ります。

当分科会の所管は、項6保健体育費のうち目4体育振興費、大事業6、全国高校総体・国民体育大会開催事業です。

【款11教育費】《項6保健体育費》（目4体育振興費）

◎世古明会長

御発言はありませんか。

小山委員。

○小山敏委員

おはようございます。

先ほどの全国高校総体・国民体育大会開催事業につきまして、少しお聞かせ願いたいと思います。

ことしの夏、猛烈な暑さの中で、伊勢市で総合開会式とか陸上競技が行われました。関係者の皆さん、本当にお疲れさんでございました。私も2日間、陸上競技、見に行ってきた

たんですけれども、心配された交通渋滞とか、駐車場がパンクするのではないかというような心配あったんですが、それも大したことなく、そのことが伊勢市にとってよかったのかどうか、ちょっと僕としての心境なんですけれども、暑さの中で入り込み客が落ち込んでいる中で、高校生がたくさん来ていただいてよかったのではないかなと思っておりません。

きょうは平成29年度決算の審査ですので、ことしのインターハイにつきましての検証につきましては、また改めてというか、違う機会にさせていただきたいと思っておりますけれども、平成29年度に各地を、先進地を視察されているかと思っております。事務の概要書には載っております。そこで、来るべき三重とこわか国体に向かって何か新たな課題でもまた見つかりましたら、ちょっと教えていただけますか。

◎世古明会長

国体推進課長。

●松葉国体推進課長

大会期間中は台風12号の上陸であるとか、記録的な猛暑が連続して連日続いておりましたが、多くの関係者の皆様方に御支援、御協力を賜り、大きな事故やトラブルもなく、無事に大会が終了したこと、まずもって御報告させていただきたいというふうに思います。大会終了後、まだ1カ月余りということで、全ての数字が出そろっているわけではございませんので、あくまで現時点での見えてきた課題ということでお答えさせていただきたいというふうに思います。

まず1点目は、市内における交通対策であると考えます。

インターハイにつきましては真夏の開催ということですが、三重とこわか国体・三重とこわか大会につきましては、秋の観光シーズンに開催されるということもありまして、観光客の皆様と来場者の方々がどのようにしてうまく共存していくかということ、それについての方策が今後必要であると考えております。

2点目に、市内における市民の方々に向けた大会の周知の仕方についてでございます。

事務の概要書509ページ、510ページにも記載させていただきましたが、インターハイにつきましては、約1年間をかけてさまざまな場所や場面においてPR活動をさせていただきました。結果として、伊勢市内でインターハイが開催されるということにより多くの方々を知っていただくことができたかと感じております。ただ、大会が終わってから、会場に入るのに入場料が必要だったのか不要だったのか、よくわからなかったという声をいただきました。また、高校日本一が決まるという本当に貴重な場でありましたので、地域の子供たちにぜひ生で観戦させてあげたかったというような御意見も頂戴いたしました。

このことから考えていきますと、今後、国体に向けてはいかにより多くの方々に会場に足を運んでいただけるかというような具体的な方策について、もう少し工夫が必要であったかというふうに反省しております。これらの課題をもとに、三重とこわか国体・三重とこわか大会につきましては、関係部署とさらに連携を図って取り組んでまいりたいと考えております。

◎世古明会長
小山委員。

○小山敏委員

ありがとうございました。

国体推進課は教育委員会じゃなくて産業観光部に属するという事は、スポーツ誘客のほうに力点を置いているんだというふうに私は理解しているんですけども、視察にいろいろ行かれた中でも勉強してきたかと思うんですが、誘客ということにつきまして何か参考になったようなところあったでしょうか。

◎世古明会長
国体推進課長。

●松葉国体推進課長

大会に参加していただいた選手、高校生につきましては、なかなか観光していく余裕というのが余りなかったかなというふうには考えております。ただ、高校生たちにとって、自分たちが出たインターハイは伊勢であったということは、一生心に残ることになるかというふうになると思います。その高校生たちが大人になって、思い出の地である伊勢にさらにまたもう一度来ていただければということを我々も一つの目標としてやってまいりました。

また、高校生ですので保護者の方々も、御両親だけでなくおじいちゃん、おばあちゃんも一緒に応援に見えていました。その方々についても「おもてなしの心を形にする大会」というコンセプトで我々取り組んでまいりましたので、一人でも多く伊勢っていいところやったなというふうに思っただけのことを目標にやってまいりましたので、そのような面では誘客につながったのではないかというふうに考えております。

◎世古明会長
小山委員。

○小山敏委員

ありがとうございました。

あと3年ですので、しっかり頑張っていたいただきたいと思います。ありがとうございました。

◎世古明会長
他に御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、款11教育費の当分科会関係分の審査を終わります。
次に、198ページをお開きください。

款12災害復旧費について御審査願います。

当分科会の所管は、項1農林水産業施設災害復旧費及び200ページの項2公共土木施設災害復旧費です。

【款12災害復旧費】 《項1農林水産業施設災害復旧費》 《項2公共土木施設災害復旧費》

◎世古明会長

御発言はありませんか。

小山委員。

○小山敏委員

私は項2の公共土木施設災害復旧費のところで、1点だけお聞かせ願いたいと思います。
昨年10月の台風21号で被災された方に対しましては、改めてお見舞いを申し上げたい
と思います。

そこでお尋ねなんですが、目1道路橋梁災害復旧費のところで、補正で1億3,300万円
余りついているんですが、決算のほうでそれが1億円余り不用額というふうに処理されて
いるんですが、これは何かわけがあったのでしょうか。

◎世古明会長

維持課長。

●上田維持課長

ただいまの小山委員の御質問にお答えします。

道路橋梁災害復旧費の不用額はなぜ出たのかという御質問に対してですけれども、まず
主な内訳としましては、去年の台風21号で被災したのり面復旧の設計と工事費でございま
す。これにつきましては、不用額としましたのは復旧しないということではございませ
んでして、設計を進めていく中で工法を検討していきながらコスト縮減を図った結果、工
法に変更が生じました。そういうことから、財源の確保という意味も加えまして、平成
30年度の6月補正で計上をし直しさせていただきました。それで、現在はその事業につ
いて進めているというような状況でございます。よろしくお願ひします。

◎世古明会長

小山委員。

○小山敏委員

ちょっとよくわからなかったんですけれども、工事請負費が不用額が9,533万円余り
ですよ。これが要らなくなって、そのかわり新しい工法で幾ら要るようになったんですか。

◎世古明会長
維持課長。

●上田維持課長

のり面を復旧するという工法自体が変わったわけではございませんが、ちょっと詳しく御説明させていただきますと、のり面の上部に家屋が建っておりまして、その家屋と土地の用地を市で買収することによりまして、のり面復旧の高さが低くなるといいますか、復旧工事費が安くなります。当初ののり面復旧と変更後の用地買収と低くなったのり面復旧を比較して、安いほうを選ばせていただいたというようなことでございます。

◎世古明会長
小山委員。

○小山敏委員

それは幾らになるんでしょうか。このとき、平成29年度の決算では工事請負費が1億1,900万円余りでしたよね。今度それが土地建物の買収と道路ののり面の復旧で、合わせて幾らになるんでしょうか。

◎世古明会長
維持課長。

●上田維持課長

おおよそですけども、3,000万円のコスト縮減ができてまして、7,000万円で復旧が完了するというような状況でございます。よろしくお願いいたします。

◎世古明会長
小山委員。

○小山敏委員

ありがとうございました。

それは国からの補助じゃなくて、全く伊勢市の負担でということですよ。

◎世古明会長
維持課長。

●上田維持課長

起債事業として行うこととなっております。

◎世古明会長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明会長

御発言もないようですので、款12災害復旧費の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、204ページをお開きください。

款14諸支出金の審査に入ります。当分科会の所管は、項1普通財産取得費のうち目1土地取得費となります。

【款14諸支出金】《項1普通財産取得費》（目1土地取得費） 発言なし

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、款14諸支出金の当分科会の関係分の審査を終わります。

以上で、歳出の審査を終わります。

次に、一般会計中、当分科会関係分の自由討議を行います。御発言はございませんか。

【一般会計の自由討議】 発言なし

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、270ページをお開きください。

住宅新築資金等貸付事業特別会計の審査に入ります。

住宅新築資金等貸付事業特別会計は、270ページから274ページです。この会計については、一括で御審査願います。

☆住宅新築資金等貸付事業特別会計 発言なし

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、住宅新築資金等貸付事業特別会計の審査を終わります。

次に、278ページをお開きください。

観光交通対策特別会計の審査に入ります。

観光交通対策特別会計は、278ページから282ページです。この会計についても、一括で御審査を願います。

☆観光交通対策特別会計 発言なし

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、観光交通対策特別会計の審査を終わります。

次に、286ページをお開きください。

土地取得特別会計の審査に入ります。

土地取得特別会計は、286ページから290ページです。この会計についても、一括で御審査願います。

☆土地取得特別会計 発言なし

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、土地取得特別会計の審査を終わります。

以上で、議案第71号の審査を終わります。

次に、特別会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【特別会計の自由討議】 発言なし

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、「議案第73号平成29年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成29年度伊勢市水道事業会計決算認定について」の審査に入ります。

この議案については、一括で御審査を願います。

☆議案第73号平成29年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成29年度伊勢市水道事業会計決算認定について

◎世古明会長

御発言はありませんか。

中村委員。

○中村功委員

それでは、一括ということでございますので、ここで1点だけお伺いしたいと思います。

「伊勢の水」ということでペットボトルをつくられていると思うんですが、その辺の製造費あるいは何本ぐらいつくったのかをお伺いしたいと思います。

◎世古明会長

上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長

「伊勢の水」の製造につきましては、まず初めに平成27年度でございますが、このとき

に4万80本、これは伊勢志摩サミットでのPR活動というのが大きな目的でございました。その後、28年度に1万8,000本、29年度も1万8,000本製造を行っております。以上でございます。

◎世古明会長
中村委員。

○中村功委員
そうすると、製造費というのは幾らぐらいかかるんでしょうか。

◎世古明会長
上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長
1本当たり約68円でございます、1万8,000本製造した場合には122万2,020円でございます。以上です。

◎世古明会長
中村委員。

○中村功委員
ありがとうございます。
そうすると、そのうち売却なり何かやっていると思うんですが、その使い道というのはどのように使っているんでしょうか。

◎世古明会長
上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長
有償配布と無償配布、二つに分かれるわけでございますが、お金をいただいている場合、有償配布の場合は、窓口販売では1本100円、500本以上まとめて購入いただく場合は1本70円、それと販売店の登録制で今進めておりますので、その販売店へ売る場合にも1本70円で行っております。以上でございます。

◎世古明会長
中村委員。

○中村功委員

ありがとうございます。

今、お伺いをさせていただきましたが、有償と無償、災害とかそういうところでも使われておると思うんですが、無償はどれぐらいのウエートというのか、どういう内容があるんでしょうか。

◎世古明会長

上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長

平成29年度の決算で報告させていただきますと、配布の総数が2万1,482本で、のうち販売、有償が1万2,771本、無償が8,711本でございます。無償の場合はどういうものかということになりますと、市が主催するイベントでありますとか、会議のときにPR用として配布、または水道の断水時に給水用として配布させていただく、そういったことが主なものでございます。

◎世古明会長

中村委員。

○中村功委員

ありがとうございます。

有償はまとまれば70円ですか、ちょっと割安に販売しているということなんですが、たしか断水のとくに私もついこの夏、前山町のほうで断水があったときに見せていただいたんですが、非常に緊急時にとっては被災者というのか、断水された方については喜んでというか、いいものかなど。当然、無償でありますので、一人一人には限りはあるんですが、制限はされておるようですが。そういうところでいきますと、断水のとくやもんで500ミリリットルというのはいいかと思います。防災、災害あるいはそういう備蓄という部分については、いささか500ミリリットルというのが非常に、しかも1年ですか、2年ですか、保存がきかんように聞いておるんですが、その辺の部分というのか、例えば500ミリリットルを2リットルにするだとか、今の保存を長く5年とかそういう長いことにすれば、各自治会でも備蓄なんかが進んでいくのかなという気がするんですが、その辺のお考えはいかがでしょう。

◎世古明会長

上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長

まず、保存年限でございますが、現在、製造、配布しているものも5年保存でございます。500ミリリットルで今製造、配布を行っておりますが、これ製造を検討している際に

もいろいろ調査もさせていただきましたけれども、全国的にもこういう水の製造を行っておりますが、大半が500ミリリットルということもございました。それで、今年度、濁り水の発生もありましたので、特に今年度につきましては広範囲にわたるといことで、給水場を設けまして、そこへ取りに来ていただくということもさせていただきました。そういったときに、持ち運び的にもちょうど500ミリリットルというのは手ごろやというところも考えておるところでございます。

保存という部分でいきますと、2リッターということも、委員おっしゃいますように効率的ということもあると思いますので、ただ、今発注させていただいておる製造会社には、そういった2リッターの製造ラインというのは現実にはないということもございまして、コスト的なこともあろうかというふうにも考えられますので、その点につきましては、今後研究させていただきたいなというふうに考えております。

以上でございます。

◎世古明会長

他に御発言はございませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

すみません、私も上水道に関して、一括ということですのでお聞きをしたいと思います。

今回、決算で4億7,823万2,000円ということで、当純利益を上げられました。これについては評価をしておるところでありますけれども、水道事業についても独立採算ということがやはり第一目標ということを経済書の中にも書かれておりますから、それに沿っていただきたいと思うんですけれども、実際には7,000万円弱の出資金、また会計上の繰出金ということが出ておりますけれども、4億円からの純利益ということであれば、独立採算としてそのあたり最低どれぐらいの繰出金、出資金が要るものなのかなということをやっと計算させていただいてもなかなか見えにくいので、そのあたりのことをお教えいただきたいと思います。

◎世古明会長

上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長

4億数千万の利益ということで、その中には一般会計からの繰り入れもいただいております。繰入金の総額といたしましては、約8,780万円でありまして、そのうち基準外となる部分でございますが、それが約2,570万円いただいております。

以上でございます。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

結局は、2,570万はもう少し頑張っただけ安くなるということの解釈でいいんですかね。

◎世古明会長

上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長

2,570万円いただいている内容でございますが、これは横輪地区の簡易水道で水道を運営させていただいておったわけなんです、平成14年、15年度にかけまして上水道への統合を進めて、現在は上水道になっているわけでございますが、これは市の施策として一般会計側とも協議もさせていただいた上で、工事費に対する企業債の元利償還金をどちらで負担していくかということの答えといたしまして、一般会計に負担をいただくということで、償還が続いている間、繰り入れをさせていただいているというものでございます。

以上です。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

いや、私、聞きましたのは、会計上の繰り出し金と出資金が毎年最低はどれぐらいのお金がかかるものやろうと。4億7,000万円から黒字ですので、それを最低限度一般会計に負担をかけない状況は幾らかなということを知りたかったので、それをもう一度お答え願えませんでしょうか。

◎世古明会長

上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長

今現在、水道ビジョンの策定も進めておりますので、将来的なめどといたしましても、内容的には消火栓に関する経費、それから管路の更新の際の耐震化を行う部分の繰り入れというのを見込んでおまして、1億円前後は今後も繰り入れをいただくような試算というところも、今概算ではございますが、行っているところでございます。

◎世古明会長

補足はございますか。

上下水道部長。

●中村上下水道部長

繰り入れ、幾らか水道事業のほうもいただいております。これにつきましては、先ほど申し上げましたように、耐震化であるとか、あるいは消火栓に関する費用であるとか、いわゆる一般会計のほうで持ちましょうということで、これは国のほうで基準も定められたのをいただいておりますというような形でございます。そんなことで、過去の横輪町のような課題もございますけれども、我々これからも最低限度の費用をいただいて、事業を運営していく、こういう考え方で進めてまいりたい、そんなふうに考えております。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

わかりました。

少し違うところでお伺いしたいんですけれども、平成28年度に全延長というんですか、水道の配管された932.8キロあったということで聞かせてもらって、今回は930.9キロということで、1.9キロ少なくなっております。この要因というのか、このあたりの説明をいただけませんかでしょうか。

◎世古明会長

上水道課副参事。

●濱口上水道課副参事

この距離の違いは、管の整備を今やらせていただく中で、二つ入っている管を一つに集約したりとか、いろいろ管を整備する中での延長の減であります。

以上です。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

大変キロ数としては長いですね。やはりこういう場所というのか、まだ集約できる場所というのはどの程度あるんでしょうか。

◎世古明会長

上水道課副参事。

●濱口上水道課副参事

道路の中に大きな構造物、例えば大きな排水路があって、両側に入っておる部分とかが水路の改修でなくなったりとか、今後はそんなにはないと思うんですけれども、若干はま

だ出てくるとは思います。

◎世古明会長
宿委員。

○宿典泰委員

当然それは更新時期に集約をしていくということの流れになっていくんだろうと思います。わかりました。

あと、老朽化の更新ということがやはり大きな課題だと思います。それについての財源のことであつたりとか、距離数の問題も含めてあるんですけども、まずはこれと関連する漏水対策について、万全を期すということで、効率の向上をしてほしいというようなことも監査には書いてありますので、そのあたりの歳出についてはどのように進められていったのかということをちょっとお聞かせ願います。

◎世古明会長
上水道課副参事。

●濱口上水道課副参事

今、漏水対策として、当然老朽管更新ということが一番に上げております。老朽管更新を行う中で、特にうちの中で古い管ということで、水道の早初期、昭和26年から40年に布設された鑄鉄管というのを今集中的に、今後もまだ続けて布設がえということで今やっております。

◎世古明会長
宿委員。

○宿典泰委員

そうすると、漏水対策としては、そういった更新がもう一番のことということになるのでしょうか。以前、聞かせてもらってあつた音聴棒というんですけど、あれで検査は人力でやられるということを知ったんですけども、範囲の持ち方や選別の仕方によっては、随分早く漏水の場所、位置というのが確定できるのではないかなと、こう思うんですけども、そのあたりは対策としてはどうでしょう。

◎世古明会長
上水道課長。

●田端上水道課長

漏水の直接的に一番早くそれを対策できるというのは、漏水調査でございまして、漏水調査は市内を5年に1回回っておりまして、5年間に1回調査をすることによって直接的

に漏水箇所を見つけて、早急に対策をするというものでございます。

◎世古明会長
宿委員。

○宿典泰委員

5年に1回というのは、これだけの延長がある、また接続部分の家庭へ行く部分もあるということになると、相当な箇所数になってくると思うんですけども、そのあたりはどのような流れでやられておるのか、もう一度御説明願えませんでしょうか。

◎世古明会長
上水道課長。

●田端上水道課長

流れといたしましては、議員仰せのとおり音聴棒といいまして、耳で聞いて、それで直接漏水を発見してやっていくという感じで、年間大体80件ほど見つけておりまして、それを早急に対策しているところでございます。

◎世古明会長
宿委員。

○宿典泰委員

今回、非常に決算を見てみると、有収率が昨年に比べて0.8ポイント減少したと。88.7%になったということですね。このあたりのことについて、さまざまな要因はあろうと思いますけれども、どのような要因があったのかお聞かせを願いたいと思います。

◎世古明会長
上水道課長。

●田端上水道課長

先ほど副参事のほうも申し上げましたが、まず事後保全といいまして、漏水を見つけてそれを直接的に対応していく。それと、もう一つが予防保全の観点から、老朽化を今後なるべく少なくしていくということに尽きると思います。

以上でございます。

◎世古明会長
宿委員。

○宿典泰委員

非常に財政の問題もあり、更新事業についても多額の費用がかかるということですから、そのあたりはちょっと追いかけてこになってしまうと思うんで、頑張っていたきたいなと思うんですけれども、今回、老朽管の更新をされたのが10.05キロメートル、1.08%、それで老朽化になる率というのがもう7%以上あるんかなと、そんなことを思うんですよね。毎年7%ぐらい伸びていくというのか。

そのあたりの、これも非常に追っかけてこになって、1%ずつ更新ができて、古いやつからどんどん更新としては年限がたっていくので、経過をしてしまうというのが7%という、なかなか追いつかんような状況なんですけれども、このあたりのことを見させていただいて、水道ビジョンの関係で今作成をしていただいているものを見ると、非常にそのあたりのことを結果的にはその工程の耐用年数を伊勢独自の基準に持って、例えば40年のものを60年の耐用年数に示しながら、水道ビジョンの中で平準化していこうということがうたわれておるわけなんですけれども、今現状としては1%を改修していく、でも7%老朽化がどんどん進んでいくとなると、3、4年で非常に大きな数字になるとは思うんですけれども、このあたりの解決方法というのは、その他ほかにはないんですか。

何か財源の安定的な支出ということも考えていくということも必要ではありますけれども、そのあたりの方策について案があればお願いしたいと思います。

◎世古明会長

上水道課副参事。

●濱口上水道課副参事

今仰せのとおり、経年化延長というのは184.1キロということで、かなり多い数値とはなっております。伊勢市水道事業ビジョンというのを作成中でありまして、アセットマネジメントにおいて伊勢市の更新基準というものをつくらせていただきました。そちらにそれぞれの施設ごとの耐用年数というのを独自で決めさせていただきまして、その中で今作成中にはありますが、財政収支等、見ながら更新を行う率、そちらも定めながら、更新をしていきたいと思っております。

以上です。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

ちょっとやはり毎年やられておる延長のことを頭に浮かべながらやられておるかもわかりませんが、極論を言うと、今の更新の事業を10%ぐらい進むように発注をする。発注をしたときにそれだけの受け皿というのか、工業者がいるのかいないのか。大きくはなって、延長が大きくなれば、クラスでいうAクラスということになってしまうんでありましようけれども、水道事業の中でもっと分割をして広くやるというような発注の仕方もあるとすると、片がつくんかなというようなことも思うんですけれども、発注をもう少

しふやして7%に追いつくような状況を見ていく。それと、今アセットマネジメントと言われた資産管理ですよね。資産管理の中でどのように安定して平準化をしていけるかというようなことにかかわってくるので、そのあたりの発注の仕方にも関係してくるのかなというのは非常に思うんですけれども、いかがでしょうか。

◎世古明会長

上下水道部次長。

●前村上下水道部次長

老朽管の更新に関しましては、さっきの水道ビジョンの中間の報告におきましても、御紹介いただきました独自の更新基準というのを設けさせていただいた上で、平準化という形を計画づくりさせていただいております。やはり老朽管はすぐになくなれば申し分はないと、有収率も向上も目に見えてという部分もございますが、やはり長期の計画の中で平準化できたというところまでまとまってまいりましたので、それを着々と毎年更新を続けていくというのが収支の関係もございまして、我々としてはバランスのよい更新になるのかなというふうに現在考えておりますので、御理解いただきたいと思います。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

もう一点、非常に僕は多く発注して早く更新事業をやれば有収率も上がり、収益につながるかとということをお願いしました。今回も0.8%の有収率が減少して、このあたりを大ざっぱですけれども収益に換算をしてもらったら、大体2,000万円ぐらいやということをお聞きしました。ということは、コンマ1ポイントで250万円ぐらい変わってくるということになるわけで、非常にこのあたりの有収率の考え方、また整備の仕方というのは重要になってくるかなと、こんなことを思います。そのあたりの有収率の重要性というのは感じられておると思うんですけれども、もう一度お答えいただけますか。

◎世古明会長

上下水道部次長。

●前村上下水道部次長

有収率1ポイントについてということで、やはりそれは費用としてロスが発生しておるということではございます。現行の水道の基本計画の中でも有収率の目標というのも定めさせていただいております。平成30年度、今年度において最終が88.5%という目標を持っておりました。

10年前から、平成21年度から有収率の向上を図ってきたわけではございますが、ちょうど平成27年が有収率の向上、目に見えて数字が上がりまして、90%まで達したという年が

ございました。そこから2年続けて若干ずつ下がってはおりますけれども、長期の有収率という見通しの中では、現状で水道事業基本計画の目標を達成できる見通しといった部分もございます。もちろん高いのが最もよいということでございますので、先ほどの漏水調査のほうで説明させていただきましたように、現状5年で市内一巡というような漏水の調査をしておりますけれども、その辺はさらに縮める中で、漏水調査の部分において漏水量を減らして、有収率の向上という部分については努力をしていきたいと考えておりますので、御理解のほどよろしく申し上げます。

◎世古明会長
宿委員。

○宿典泰委員

有収率、非常に大事だということを申し上げたい一つとしてお答えをいただいたわけなんですけれども、一方、工事発注の状況を見てみると、平成29年度は18億3,000万円強、発注をされております。ところが持ち越しというのか、平成28年度の繰り越しが7億6,800万円あるんです、別に。合計25億9,800万円あります。結果としては6億400万円強、また繰り越しをするというようなことになっています。

先ほど僕が申し上げた10%を目指してたくさん発注をしたらということが、このあたり逆に大変繰り越しが出てくるみたいな話になってしまうので、非常に問題かと思うんですけれども、繰り越しの原因いろいろあって、今発注の仕方が平準化というようなことをされて、期末にたくさん発注をすると当然繰り越しということになってしまうとは思いますが、そのあたりの発注の仕方についても、随分やはり私はちょっと異論があります。

一般会計であれば、この会計もそうですけれども、3月31日ではちゃんと切るということになるので、現場も本来はそこでぱんと締めて、棚卸しから人件費から何か全部割らないかんけれども、そこまではやってないと思うんです、現状は。発注されて仕事してみるのは業者さんですので、それから10日分入ってしまっておるのか、10日分しなかった分なのかというようなことが、我々そこは余り見る機会もないし、それを細かく言うつもりはありませんけれども、余りにもやっぱり1年間のやっていく量からすると、繰り越しが多い。毎年毎年7億、6億というようなことがあって、以前はそれ以上あったというようなことになってくると、さまざまなそれは理由があろうと思いますけれども、それとあと早く更新をしたいというようなこと、有収率をもっと上げて収益をきちっと確保したいというようなことと相まって、もうその三つが非常に線引きができないような状況ですけれども、このあたりの繰り越しについて、まずはちょっと御答弁いただけませんか。

◎世古明会長
上水道課副参事。

●濱口上水道課副参事

今仰せのとおり、繰越額というのはかなりあります。大きなやっぱり要因としては、水道管は道路占有者でありますので、その他支障管となることが多いです。道路管理者さんの発注工事であったりとか、ほかの下水道工事であったりとか、それに合わせて最初に仮設を行って、その工事が終わるのがおおよそ言われるように年度末、そこから水道の復旧という作業になりますので、どうしてもちょっと布設管の占有の支障管移転というのは繰り越しがかなり多くなっております。これが現状です。

◎世古明会長
宿委員。

○宿典泰委員

聞いておっても非常に悩ましい話ですけれども、やはり繰り越しは当たり前やというふうな状況にしてしまうということは、なかなか僕は問題だと思うんですよ。会計上の、独立採算とはいえ、毎年、一般会計からも多少のお金もいただきながら、1年の中で完結をしていくということがやっぱり水道事業で大事なことだと思います。

でないと、繰り越しがあるということはどういうふうにカウントされるかということ、40年の法定の耐用年数があるのに、60年に延ばしたときにそのあたりのことはどうやって換算をしていくんだらうというようなことになって、繰り越しの分は実はこの中に入っておるのか入っていないのかとか、そういう細かな話がお聞きすると出てくると思うので、一つには1年発注する分についてはやはり1年で完結をできる、極力そういう状況をつくっていくということが、僕は大事だろうと思うし、水道業者の人に聞くと、まだまだこれぐらいのことやったら私はできても入札には入れないということがいっぱいあって、何かそのあたりのことが矛盾で、早く済ませれば早く収益が上がるのに、何か発注ができない。発注をやってもやっぱり今みたいないろんな理由の中で繰り越しも多いということになると、非常にそのあたりどうなんかなというのがありますので、そのことも含めて一考願いたいと思います。

部長から今まで申し上げたようなことも含めて、やはり私は有収率を上げることが第一で、独立採算制というのはもうそれ以上に大事なことだとは思いますが、そのあたりのことをちょっと総括して、平成29年度の決算に向けた話としてお答えをいただけませんかでしょうか。

◎世古明会長
上下水道部長。

●中村上下水道部長

先ほど来、事業経営につきまして、さまざまな御指摘を頂戴しております。

まず現在、水道事業ビジョン中間案を先般、公表させていただきました。先ほど来、出ておりますように、その中で施設の資産管理、アセットマネジメントという考え方をを用いて、これから計画的にまず改築更新をしていこう、こういった考え方をお示しさせていた

できました。その中で、おかげさまで先ほどからお話ございましたように、現時点では昨年度、利益を幾らか計上させていただく報告ができております。この状態を少しでも維持していく、これが必要なというふうに考えております。いずれにいたしましても、現在、進めておりますこの計画を今年度まとめまして、それに基づいて計画的な事業運営を進めてまいりたいと思っております。

それから、少しやっぱり専門的過ぎるな、わかりにくいなというような声もいただいておりますので、広報活動につきましても現在いろいろ進めておりますけれども、より一層利用者の皆様に御理解していただきやすいような環境づくり、また親しんでいただきやすいような状況、こういったことも考えて、事業運営を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞ御理解をよろしくお願いいたします。

◎世古明会長
宿委員。

○宿典泰委員

わかりました。

もうお答えはいいんですけれども、今後やはり水道法の一部改正等々あって、非常に全県下的な物の考え方をしていくということになるし、水道1立米当たりどれぐらいの単価になるのかも含めて、非常に悩ましい問題が今後あります。僕は今の伊勢市の水道部については、非常に堅実にやっていただいておりますと評価はさせてもらっています。ただ、やはり決算ということになると、収支当然あるわけでありまして、今抱えておる人口減少等々あって、これからもう収益が伸びるといようなものは何もないということになると、やはり経費削減をしたり、今言われたような有収率を上げる努力というのを今後続けていただきたいということを申し上げて、質問を終わります。

◎世古明会長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、議案第73号の審査を終わります。

会議の途中ですが、11時まで休憩いたします。

休憩 午前10時48分

再開 午前10時58分

◎世古明会長

休憩を解き、会議を開きます。

次に、「議案第74号平成29年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成29年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」の審査に入ります。

この議案についても、一括で御審査を願います。

☆議案第74号平成29年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成29年度伊勢市下水道事業会計決算認定について

◎世古明会長

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

すみません、下水道のほうでちょっとお伺いをしたいと思います。

今回、平成29年度に当たるということになると、第3期、第4期ということになるかと思うんですけども、実際もう第4期については平成28年から平成32年という計画があって、ちょっと前倒しをしながら3期とかぶる面はあろうと思うんですけども、そういう事業をしていただきながら、今普及率が52.3%になったというようなことであります。大変、下水道、人口も減る中で、計画の区域内を非常に積極的にやっていただくとしても、投資とやはり収支のバランスというのが非常に難しい話で、企業債を借りながらということになってこようと思うんですけども、下水道事業の報告書の中でこれといって平成29年度の報告がなされておらんのですけれども、そのあたりのことでいかが下水道事業の平成29年度の報告として総括はどのような感じやったのか、ちょっと報告書の中身、書かれていない分もありますので、ちょっと御報告を願いたいと思います。

◎世古明会長

上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長

平成29年度の下水道事業の決算でございますが、収支的には純利益が2億4,944万5,880円ということでございましたが、これは今までと同様に一般会計からの繰り入れをいただいた上での利益ということで、また今後のことを考えますと、企業債残高等々もまだふえていくというようなことを見込まれておりますので、大変厳しい経営状況が続いていくものというふうに認識しているところでございます。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

大変厳しいということで私も感じておりますものですから、御質問申し上げました。2億4,000万円からの純利益があったと。収支はそれであったということですが、実際にはもう毎年18億円から一般会計から下水道に入れておるといような状況を見ると、

平成32年、あと9年ですか、それだけでも162億円ぐらい入れるような状況です。大変多額の費用がかかるんだなというようなことを思うんですけども、普及率52.3%で、下水道が始められて平成29年度現在で、汚水管渠の投資額というのは幾らぐらいになるものなのか。また、それと一人当たりどれぐらいの費用になるのかということをお教え願いたいと思います。

◎世古明会長

上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長

これまで汚水整備を進めてきました事業費の累計でございますが、約756億8,000万円でありまして、平成29年度末の処理区域内人口一人当たりで換算をいたしますと、約114万円でございます。

以上です。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

大変な費用だと思います。単純に計算するわけにはいきませんが、流域の計画地を100%やろうということになると、もう1,000億円ということになるんですかね。それぐらいの感じになって、超えてしまうのではないかなと、こんなことを思います。

それと今回、今後の話でありますけれども、下水道に関して維持管理費というのが伸びてくるわけですね、経年的な状況を見ると。そのあたりのことも考えると、あとどうでしょう。こういうことは大体で言うてはいけませんけれども、1,000億円を超えてくるということの中で、どのような財政的な収支を考えておられるのかというようなことになるわけでありまして、そのあたりを今大変厳しい状況で、起債等々ということも考えておるといってお聞きしたんですけれども、先ほどの一般会計の18億円の中に基準内繰り入れと基準外繰り入れというのがあります。そのあたりのちょっと分け方の問題と考え方をお聞きしたいと思うんですけれども、御紹介してください。

◎世古明会長

上下水道総務課長。

●成川上下水道総務課長

平成29年度決算で18億円の繰り入れをいただいておりますが、その中に資金不足の支援という部分になりますが、基準外繰入金金は5億9,027万6,000円でございます。

以上です。

◎世古明会長

考え方は。

●成川上下水道総務課長

申しわけございません。現在、普及率が50%を少し上回ったという状況でございまして、今後の事業の収支の見込みを考えますと、まだまだこれから一般会計からの支援というのは必要になってくるというふうに見込んでおるところでございます。

以上です。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

基準内繰り入れというのは、総務省の自治財政局からも地方公共団体の繰り出し金についてということいろいろあって、その中で基準内繰り入れはいいとは思いますが、いわゆる今6億円弱の基準外繰り入れ、これについての市の政策判断というのが比重になってくると。今回、下水道で担ってもらっているのは污水管渠だけじゃなくて、雨水管渠ということになろうと思います。平成29年度、非常に台風による災害が発生をしております。各ポンプ場の増設であったりとか、またいろいろ管路の見直し等々も今後必要になってくるおそれもあるというようなことも考えると、今平成29年度の中で予算化はしていなかったけれども、しかしながら台風災害の水の問題、特に雨水処理としてどのように今後考えていくのかということをお答えいただきたいと思っております。

◎世古明会長

下水道建設課長。

●松田下水道建設課長

まず、整備ということをお答えさせていただきますと、これは今年の台風21号を受けまして、7月5日の産業建設協議会でも御報告申し上げたところでございますけれども、勢田川流域等浸水対策協議会、これを立ち上げまして、その中で実行計画というのを策定しました。この中で国・県・市、3者連携して整備を進めていくという中で、短期計画、その中でも下水道の役割として、桧尻川の流域と黒瀬町にあります黒瀬ポンプ場、こういったあたりの増強を短期で進めていくというような方向で今考えております。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

そのこともあって、基準外の質問もさせていただいたんですけども、結局、基準外の

一般会計から送る分については市の政策ということになって、当然、我々も国・県の補助事業に乗かってということは、非常にそう思います。財政的な面で有利ですから。でも、台風の状況を見てみると、なかなか勢田川流域だけではなくて、他の地域の問題も含めて雨水をどのように処理していくかという観点で立つと、やはり市の政策判断の中で単費でも至急やっていかなければならんものというのは相当出てくるのではないかなど、こんなことを思うものですから、そうすると18億円を基準内繰り入れが12億円、大体6億円が基準外繰り入れとすると、やはり基準外のほうをどのように考えていくかということと、基準内であってもどのように削減できるかというようなことを考えていく必要が出るので、そのあたりのことをもう一度お答え願えませんか。

◎世古明会長

下水道建設課長。

●松田下水道建設課長

今後たくさんの費用がかかるという中で、やはりコスト削減というのでも進めていく必要があると思いますし、下水道の財源としましては、国の補助金をほとんど活用しているという部分がございます。その辺、有利な補助金を活用ということで、平成28年度にも重点化事業というのを進めさせていただきましたし、今年度、重点化配分事業ということで、そういった指定もしていただきまして、国の財源の確保に努めているところでございます。以上でございます。

◎世古明会長

上下水道部長。

●中村上下水道部長

まず、浸水対策のこれからでございますけれども、私どもは下水道分野を担っております。主に市街地の浸水の対策を進めていく。これにつきましては、国のほうの補助をいただきながら進めていく。そうした規模が大きな仕事になろうかなと思っております。

一方で、私どもの下水道のまた上流域、これは水路、それから側溝というふうな状況になってくるわけですが、この点につきましては都市整備部のほうの担当分野になってまいりますので、双方連携をとりながら進めていきたい。その中でやはり単独費の必要性、あるいは我々の繰り入れのあり方、そういったことも意識をしながら進めてまいりたい、こんなふうに思っております。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

わかりました。もう本当に大変な事業だとは思いますが、市民から見ると、や

はり台風時に安心・安全ということを旨としてやるということになると、そのあたりは国の事業が乗っかからんでという話じゃなくて、市単の政策判断としてやるべきものが出てくるのではないかなということをお願いしました。

倉田山ポンプ場が2基から3基になるというような報告もいただいて、非常に黒瀬、通、浜郷地区についてはもう非常にあれですし、また神久、神田久志本のほうも非常に水引きがよくなったということは、市民の方からも評価はいただいております。ただ、倉田山ポンプ場ではけない部分の流域がある。山商から下って、やはりバイパスと二見へ行く県道とのあのあたりが、もう最終的に2日以上たってやっと水が引くような状況にあったと。あそこへもうたまりが出てくるわけですね。

ということになると、やはり流域関連ということになれば、流域の調査というのをいま一度やはりスタートをさせて、そのあたりでもう少し排水の流量がとれるかとれんかというようなこととか、特にやはりヘドロが非常に常時たまっておるようなところもありますので、流域調査とともにどれぐらいはけるものかどうかということ調査の必要性もあるのではないかなというようなことを非常に思っております。

雨水については、汚水とは別で一旦決められたことを今粛々とやっていただいております。は思うんですけれども、そのあたりの流域調査というのをいま一度必要性があるのではないかなというようなことを非常に感じましたので、そのあたりの考え方だけお聞かせを願えませんかでしょうか。

◎世古明会長

下水道建設課長。

●松田下水道建設課長

ただいまの御質問ですけれども、現在、協議会、作成した実行計画につきましては、基本的に排水路の整備、あとポンプ場の状況、そういった時間のかかるような部分が大半でございます。その中でも委員仰せのとおり、側溝の土砂堆積の状況とかいう部分でございます。この件に関しましては、これも7月5日の産業建設委員協議会で管理部署が答えていただいたところではございますけれども、やはり関連部署で連携して側溝の堆積調査、その辺も進めながら対処していきたいと考えております。

以上でございます。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

流域の見直しだけは、よろしく調査だけはお願いしたいと思います。

あと1点、最後に桧尻川に関連して申し上げたいと思うんですけれども、私は桧尻川の対策ということが、我々議会のほうではもう常々しゅんせつであり、護岸の工事の進捗ということをお願いしてまいりました。ところが、残念なことになかなか進まないというような

ことで、今回、台風21号の関係で桧尻川を見せていただいたら、大変残念なことでありませうけれども、三重県のほうでも予算が上がっていないみたいな話で、何じゃこれは進むはずがないなというようなことが浮き彫りになりました。

勢田川対策協議会ができて、非常に国・県のほうも一つの思いで進んでいけると思うんですけども、桧尻川の状況というのは今後どのようになっていくんだろう。県のほうの予算計上がなければ、市単でやるわけにはいきませんし、当然、国の補助というのも関係してこないということになってくると、このあたりの進み方が悪いのはそのあたりではないかなと。特に近隣の住民の方からも、自治会からも毎年このあたりのことの交通渋滞も含めて非常に要望が多い中で、そういう状況が明らかになりました、この台風の関係で。そのあたりのところは、当然これ都市整備との関係もしてくるんだろうと思いますけれども、今の現状の認識と今後のことについて、平成29年度の決算を踏まえてよろしくお願いをしたいと思います。

◎世古明会長

都市整備部次長。

●宮本都市整備部次長

今、宿委員の御質問というか、今の県の状況がどうなっているかという御質問ですので、私のほうから説明させていただきます。

今、下水道建設課長のほうから申しましたように、勢田川の協議会を立ち上げまして、そして実行計画ができております。先ほど下水道のほうも短期と中長期の目標があって、三重県の桧尻川につきましても、7月5日の協議会で話させてもらいましたように、三重県としての役割としては、しゅんせつを短期計画の中で進めるところでございます。その後には護岸整備という形で計画がありまして、まず上流部については市の桧尻川についても、私どものほうで、市のほうで整備することになっています。

この5年間の目標でというところで、しゅんせつ工事が三重県のほうから上がっておって、実は来年を予定しておったんですが、県のほうもこの災害を受けまして、前倒しして今年度からしゅんせつ工事に入るところもお聞きしていますし、桧尻川の排水計画というか河川計画というのもない状況ですので、そちらのほうにも着手したというところを聞いておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

◎世古明会長

宿委員。

○宿典泰委員

わかりました。大変、汚水も雨水もやっていくということで、下水道建設課も本当に大変だとは思いますが。ただ、雨水の問題は日常の我々の家庭生活に密着した問題ですから、順次やはりもう少し計画、計画だけではなくて、ポンプ場の更新、また農業排水の更新も、これは維持課でやる仕事だとは思いますが、同じ大雨が降ると関連はしてきますの

で、よろしくお願ひしたいと思うのと、やはり県のほうの事業化というのか、何かがあつてから前倒しするというような話は、僕は通らんとするんですよ。これはもうやはり人災にならないように、早い目にいろんな予算の確認もしながら、獲得をしながら、やはり安くてもいいものということに最終はなるんでしょうけれども、試算で考えるべきところはどのように考えていただきながらやっていただきたい。

大変、下水道にしても、汚水管の延長がどんどん伸びていきます。維持管理も大変な状況だと思います。そこへ来て人口が減り、やはり収入としてもなくなってしまうわけですから、そのあたりの財政運営の関係も非常に心配をしておるところですので、どうぞそのあたりの気をつけていただきながら、平成29年度の決算を胸に平成30年度の運営を確実なものにしていただきいなど、こんなことを申し添えて終わります。ありがとうございました。

◎世古明会長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、議案第74号の審査を終わります。

次に、企業会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【特別会計の自由討議】 発言なし

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、平成29年度決算全体中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【平成29年度決算全体の自由討議】 発言なし

◎世古明会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前11時18分

再開 午前11時18分

◎世古明会長

休憩を解き、会議を開きます。

以上で、本分科会に振り分けられました案件の審査は終わりました。

委員の皆様におかれましては、円滑な審査に御協力いただきありがとうございました。
お諮りいたします。

会長報告文の作成については、正副会長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明会長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。

それでは、これをもって決算特別委員会産業建設分科会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午前11時19分

上記署名する。

平成30年 9 月25日

会 長

委 員

委 員